

(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業における審査講評について

川西市は、(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業にかかる、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）第11条第1項の規定による客観的評価の結果について、(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業者選定委員会の審査講評を公表します。

令和2年6月19日

川西市長 越田 謙治郎

(仮称) 川西市中学校給食センター
整備・運営 PFI 事業

審査講評

令和 2 年 6 月 19 日

(仮称) 川西市中学校給食センター整備・運営 PFI 事業者選定委員会

(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業者選定委員会は、(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業に関して、落札者選定基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

令和2年6月19日

(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業者選定委員会
委員長 北詰 恵一

目次

第 1 審査体制	1
第 2 委員会の開催経過	1
第 3 審査結果	1
1 競争参加資格確認審査（第一次審査）	1
2 提案内容審査（第二次審査）	2
3 入札価格の適格審査（開札）	4
4 入札価格の得点化方法	4
5 総合評価	4
6 審査講評	5
7 総評	7

第1 審査体制

学識経験者等の委員 5名の委員で構成する（仮称）川西市中学校給食センター整備・運営 PFI 事業者選定委員会（以下「委員会」という。）が、落札者決定基準に基づき入札参加者から提出された入札書及び提案資料の審査を行い、最優秀提案者を選定した。

委員会の構成は、次に示すとおりである。

委員長	北詰 恵一	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科 教授
副委員長	宮崎 ひろ志	関西大学 環境都市工学部 建築学科 専任講師
委員	西村 智子	梅花女子大学 食文化学部 管理栄養学科 教授
〃	田辺 彰子	田辺彰子公認会計士事務所
〃	小和田 勉	川西市立緑台中学校 校長

第2 委員会の開催経過

委員会は計 4 回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

審査委員会	開催日	主な議題
第 1 回	令和元年 9 月 13 日	委員長及び副委員長の選出、事業概要及びスケジュールについて、実施方針(案)等について、落札者決定基準の作成方針について
第 2 回	令和元年 10 月 16 日	落札者決定基準の作成方針について
第 3 回	令和元年 11 月 5 日	落札者決定基準（案）について、事業者選定に係るスケジュール・手順について、ヒアリング方法について
メール会議	令和 2 年 5 月 8 日	提案資料に対する委員所見の共有
第 4 回	令和 2 年 5 月 25 日	提案書に関する意見交換、事業者への質問事項の確認、事業者ヒアリング、総合評価

第3 審査結果

1 競争参加資格確認審査(第一次審査)

下記の 2 グループから入札参加資格確認申請に関する提出書類の提出があり、市は入札参加者が備えるべき参加資格要件（入札説明書に規定されている要件）を満たしていることを確認し、委員会は報告を受けた。

グループ名
シダックス大新東ヒューマンサービスグループ
日本国民食グループ

2 提案内容審査(第二次審査)

(1) 入札書及び提案資料の確認

下記グループから入札書及び提案資料が提出され、市が必要書類に不備がないことを確認し、委員会は報告を受けた。

なお、加点項目審査における評価の際は、入札参加グループ名、企業名等を伏せ、入札参加受付後に配布した受付番号により、全ての審査を行った。

グループ名	受付番号	グループ構成	
シダックス 大新東 ヒューマン サービス グループ	23	代表企業	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
		構成企業	株式会社柄谷工務店
		構成企業	株式会社アイホー 神戸営業所
		構成企業	三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社
		構成企業	プラスワン株式会社
		協力企業	株式会社阿波設計事務所
日本国民食 グループ	36	代表企業	日本国民食株式会社
		構成企業	美樹工業株式会社 神戸支店
		構成企業	日本調理機株式会社 神戸営業所
		構成企業	太平ビルサービス株式会社 神戸支店
		協力企業	株式会社類設計室

(2) 必須項目審査

上記グループから提出のあった提案資料の内容が、市が必須とする項目（必須項目）を充足しているかを市が確認し、委員会は報告を受けた。

必須項目審査では、「要求水準を満たすための基本的能力を有する」ことを判断し、落札者決定基準に示す必須項目審査の審査基準を満たしていることを確認した。

(3) 加点項目審査

上記グループの提案内容のうち、市が特に重視し、かつ委員会が審査した項目（加点項目）に関して、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて、以下に示す判断基準により委員会が性能点を付与した。

評価	判断基準	得点化方法
A	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が特に優れている	各項目の配点×1.00
B	AとCとの中間の提案内容	各項目の配点×0.75
C	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が優れている	各項目の配点×0.50
D	CとEとの中間の提案内容	各項目の配点×0.25
E	要求水準書の記載を超えない提案内容	各項目の配点×0.00

加点項目審査の結果は、以下のとおりである。

審査項目	配点	得点	
		23 グループ	36 グループ
(ア) 事業計画に関する提案	105	51.25	59.75
①事業実施方針、実施体制	60	30.00	36.00
②資金調達・返済計画の確実性・安定性	20	10.00	10.00
③リスク管理の方針	25	11.25	13.75
(イ) 設計・建設に関する提案	165	68.00	83.00
①配置計画・外部計画	25	8.75	13.75
②内部計画	50	12.50	25.00
③配送校の配膳室・エレベーター計画	35	17.50	15.75
④施工計画	20	10.00	11.00
⑤地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	35	19.25	17.50
(ウ) 開業準備に関する提案	20	12.00	11.00
円滑な供用開始に配慮した開業準備	20	12.00	11.00
(エ) 維持管理に関する提案	50	28.50	22.50
①地球環境負荷の低減への配慮 (運營業務からの観点を含む)	20	12.00	9.00
②修繕計画	30	16.50	13.50
(オ) 運営に関する提案	280	146.75	172.50
①おいしい給食の提供	65	32.50	42.25
②安全衛生	60	33.00	33.00
③食物アレルギー対応	60	30.00	39.00
④配送・回収	50	27.50	32.50
⑤従業員の健康管理	25	13.75	13.75
⑥食育推進	20	10.00	12.00
(カ) その他に関する提案	80	52.00	48.77
①地域経済への貢献	20	10.00	13.00
①地域経済への貢献 (定量評価)	20	20.00	13.77
②付帯事業	40	22.00	22.00
性能点合計	700	358.50	397.52

3 入札価格の適格審査(開札)

入札書に記載された入札価格が予定価格を超えていないことを市が確認し、委員会は報告を受けた。

4 入札価格の得点化方法

入札価格を対象として、以下に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 300 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{当該入札価格})$$

項目	23 グループ	36 グループ
入札価格	5,648,639,785 円	5,856,153,205 円
価格点	300.00	289.37

5 総合評価

委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、36 グループを最優秀提案者として選定した。

(総合評価点の算定結果)

項目	23 グループ	36 グループ
性能点	358.50	397.52
価格点	300.00	289.37
総合評価	658.50	686.89
順位	2 位	1 位

6 審査講評

(ア) 事業計画に関する提案

審査項目	審査講評
①事業実施方針、実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、同種事業の実績が評価された。 ・36 グループは、グループの統率に配慮した実施体制が特に評価された。
②資金調達・返済計画の確実性・安定性	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、確実な資金調達、SPC の収支の安定性の確保、資金ショートリスクの回避の提案が評価された。 ・36 グループは、確実な資金調達、SPC の収支の安定性の確保、資金ショートリスクの回避の提案が評価された。
③リスク管理の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、リスクの管理方針の提案が評価された。 ・36 グループは、リスクの管理方針、管理体制の提案が特に評価された。

(イ) 設計・建設に関する提案

審査項目	審査講評
①配置計画・外部計画	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、搬入・配送車の動線計画、搬入・配送車の作業スペース確保の提案が評価された。 ・36 グループは、搬入・配送車の動線計画、搬入・配送車の作業スペース確保、施設の出入口位置や歩行者動線に係る配慮の提案が特に評価された。
②内部計画	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、見学通路の見学範囲に係る配慮の提案が評価された。 ・36 グループは、食材の内部動線、釜の配置、教育に配慮した多目的室の配置の提案が特に評価された。
③配送校の配膳室・エレベーター計画	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、エレベーター利用者の安全対策の提案が特に評価された。 ・36 グループは、配膳備品の提案が評価された。
④施工計画	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、悪臭対策の提案が評価された。 ・36 グループは、周辺施設に対する対策、具体的な騒音・振動対策、悪臭対策の提案が特に評価された。
⑤地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、選定材料や工法、配管改修に係る配慮の提案が特に評価された。 ・36 グループは、再生材の利用、機器更新に係る配慮の提案が評価された。

(ウ) 開業準備に関する提案

審査項目	審査講評
円滑な供用開始に配慮した開業準備	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、明確な開業準備体制の提案が特に評価された。 ・36 グループは、具体的な開業のための訓練の提案が評価された。

(エ)維持管理に関する提案

審査項目	審査講評
①地球環境負荷の低減への配慮（運營業務からの観点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、環境負荷低減を図る体制、具体的な取り組み内容の提案が特に評価された。 ・36 グループは、環境負荷低減を図る計画策定の提案が評価された。
②修繕計画	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、具体的な建物診断の提案が特に評価された。 ・36 グループは、修繕計画の提案が評価された。

(オ)運営に関する提案

審査項目	審査講評
① おいしい給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、調理技術研修を実施する提案が評価された。 ・36 グループは、具体的な調理体制や残食を減らす取り組みの提案が特に評価された。
②安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、安全衛生に係る教育の提案が評価された。 ・36 グループは、安全衛生に係る教育の提案が評価された。
③食物アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、アレルギー対応食の専用調理室の設置や食材動線、配缶の確認方法、対応食器の提案が評価された。 ・36 グループは、アレルギー対応食の調理体制、専用調理室の設置や室構成、対応食器の提案が特に評価された。
④配送・回収	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、2時間喫食の実現が期待できる配送車両の台数設定、事故や道路渋滞等の対応策の提案が評価された。 ・36 グループは、2時間喫食の実現が期待できる配送車両の台数設定、事故や道路渋滞等の対応策、誤配の防止方法の提案が特に評価された。
⑤従業員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、調理員や調理員の家族に対する感染予防の対策の提案が評価された。 ・36 グループは、手厚いノロウィルス対策の提案が評価された。
⑥食育推進	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、種々の食育推進の取り組みの提案が評価された。 ・36 グループは、具体的な種々の食育推進の取り組みの提案が特に評価された。

(カ)その他に関する提案

審査項目	審査講評
① 地域経済	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、明確な地元雇用の目標が掲げられ、積極的な地元雇用を進める提案が評価された。 ・36 グループは、地元発注状況の確認・履行等が確実に行われる体制、地元の経験者や障がい者雇用を実現する具体的方策の提案が特に評価された。
②付帯事業	<ul style="list-style-type: none"> ・23 グループは、育成クラブへの昼食提供やその他付帯事業の提案が評価された。 ・36 グループは、育成クラブへの昼食提供やその他付帯事業の提案が評価された。

7 総評

はじめに、総評にあたり、本事業に対して関心を持っていただいたこと、また、提案資料の作成にあたっての努力に対して感謝申し上げます。

今回、多くの企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから応募があった。提出のあった提案資料は、本事業の内容を十分に理解し、これまでの各企業の実績を基に創意工夫が盛り込まれており、市の要求水準を上回る提案内容が示されていた。

日本国民食グループの提案としては、おいしい給食やアレルギー対応食を提供するための具体的な調理体制の提案、2時間喫食の遵守だけでなく不測の事態にも配慮した配送・回収に関する提案などがあり、これらの提案が特に評価された。

シダックス大新東ヒューマンサービスグループの提案としては、明確な開業準備体制の提案、維持管理業務に関して環境負荷低減を図る体制や取り組み内容の提案などがあり、これらの提案が特に評価された。

これらの提案に対し委員会は、落札者決定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、日本国民食株式会社を代表企業とする日本国民食グループを最優秀提案者として選定した。

今後、日本国民食グループは事業契約を締結し、長期間にわたる事業を実施することとなる。その際に、市と日本国民食グループは、本事業が、川西市の子どもたちにとって極めて重要な役割を担うものであることを再認識し、官民パートナーシップの精神に基づいた協議を行い、本事業の円滑な推進に努めていただきたい。

なお、最優秀提案者として選定された日本国民食グループが、市と事業契約を締結し、本事業をより良いものとするため、以下の項目について十分に配慮して整備・運営いただけるよう委員会として要望する。

- ・計画敷地への不審者の侵入防止等の防犯の提案に努めること。
- ・野菜類の焼き物、揚物調理に関して、他の食材との交差の防止の提案に努めること。
- ・エレベーター利用者に対する防犯の提案に努めること。
- ・長期の事業期間中も不断の努力によって環境変化に対応すること。